

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和元年10月10日(木)～11日(金)

視察先
及び
視察事項

・令和元年10月10日(木)
山口県下関市議会

(1) 山口県 下関市議会

ア 議会改革について

(ア) 市出資法人への市議会の関与

(イ) 議会業務継続計画(BCP)

(ウ) 市民と議会のつどい

イ 議会施設について(議場・委員会室・会派控室など諸室及び電子表決システム等設備の視察含)

(ア) 施設の計画、設計に当たっての市議会の関わり方(要望等)

(イ) 施設整備の基本方針・設計方針

(ウ) 各施設(諸室)の概要(面積・設備等内容)

・令和元年10月11日(木)

(2) 広島県 呉市議会

ア 議会報告会について

(ア) 概要、課題及びその対応

(イ) 常任委員会所管事務調査(テーマ)の報告と報告結果の活用

イ 市議会だよりについて

(ア) 概要

(イ) 一般質問の掲載(紙面割合、留意点)

(ウ) 配布状況(対象、方法、設置場所)

(エ) 紙面内容に係る市民からの意見聴取(取組み状況、具体的な結果等)

ウ 市議会の災害対応について

(ア) 災害発生時の対応要領

(イ) 平成30年7月豪雨災害への具体的な対応

エ 新庁舎建設に伴う議会施設の整備について(議場・委員会室・会派控室など諸室及び電子表決システム等設備の視察含)

	(ア) 施設の計画、設計に当たっての市議会の関わり方（要望等）
	(イ) 施設整備の基本方針・設計方針
	(ウ) 各施設（諸室）の概要（面積・設備等内容）

下関市

議会改革について

1、市出資法人への市議会の関与について

下関市は、市出資法人に対して調査特別委員会設置している

以下、3法人に対して下関市は出資していることから財務状況等に関する調査票を作成している

- (1) 公立大学法人 下関市立大学
- (2) 地方独立行政法人 下関市民病院
- (3) 下関市土地開発公社

・参考人出席の効果について

2、議会業務継続計画（BCP）について

概要

目的：下関市内で大規模災害が発生した場合に、下関市災害対策本部と連携することにより、市民の安心安全を確保し、議会機能の早期回復を図ることを目的として、二元代表制の一翼を担う議会および議員の対応について必要な事項を定めるものとする。

・BCPの発動要件

市本部が設置される災害基準を準用する。

・議会の役割

議長の判断により、下関市議会災害対策会議を設置することとし市災害対策本部は迅速かつ適切な災害対応に専念できるように必要な協力支援を行うこととしている。

災害対策会議において、議会機能を一元化し、情報の収集や、提供の集約化を図るほか、必要に応じて市本部に対し提言等を行う。また、市本部と連携協力し、関係機関に対し、要望等を行うこととしている。

・議員の役割

議員は、各地域における災害普及活動への協力支援を行うほか、地域の情報収集や住民への市からの情報提供を行うこととしている。

・議会事務局の役割、

災害発生時の避難誘導や、災害対策会議の開催準備等、事務の補佐を行うなどを規定している。

・市街発生からの経過時間ごとにおける議会および議員の行動

災害時から3日目の災害発生時、4日から10日の応急活動期、11日以降の持久活動期議会並びに議員の行動について記載している。

・連絡体制

安否確認について

議員は原則メールにて自身の安否や連絡先を知らせることとしており、発災時の通信状況によってメールが使用できない場合は、固定電話、または、ファックス等、その時に使用できる通信手段を使用するものとしている。

安否確認は、原則として、会派において取りまとめをし、会派代表が連絡をすることとしている。また、災害対策会議から議員への情報提供については、原則、メールや、タブレットを使用することとしている。

BCPの見直しについて

より実効性のあるものとするため、災害時における議会と事務局の体制の検証等を行うほか、状況の変化等によって、見直しの必要が生じた場合は、議会運営委員会においては協議するものとしている。

今後の状況について

2月の選挙において定数34名中新人議員が、10人となったため、BCPの確認、および、177の電話確認の実施。

課題：議員と事務局間で、SNSによる双方向通信手段の確保の導入についてが今後の課題、研究

《感想》

上記内容の役割が定められている。これらについて説明を受け、状況により、この通りにはいかないと思うが、こうした一定の計画は必要だと考える。

3、市民と議会のつどいについて

平成24年から開催

市政のいろいろな課題に柔軟に対応するため、市政全般にわたって、議員と市民が情報や意見を交換できるよう行っている。

市内12地区に分けて10月から11月にかけての時期に年3回～4回程度で開催。

4年の任期中で、全地域を回る

市民と全議員が対面する形式

全体として1時間30分程度

市民から出た意見要望については、その場で回答できるものについては、その場で回答。

回答が困難な場合については、後日回答もしくは執行部に伝えますと、いう形にしている。

議員の中によっては、出された意見要望を一般質問する場合もあるが、政策提言にまではもってっていない。

アンケート結果から

課題

- ・女性や若者などより多くの市民に参加していただく工夫が必要ということで、大学・高校での検討をした。

選挙権年齢が 18 歳に引き下げられたことによる、主権者教育の一環として、平成 28 年 7 月高校私立〇〇商業高等学校で開催。

平成 29 年のアンケート結果から、議会においてワールドカフェ方式など提案があり、平成 30 年度は、各常任委員会でそれぞれが掲げている活動方針に基づき、関係団体との集い、意見交換を実施している。

結果

- ・集いの形式を変えて開催はよかった
- ・各常任委員会の所管に関係する団体他にもあるので、1 年で辞めるのではなく、反省点も含め、この形で開催する。

令和元年も前年同様に実施している。

今後について

しばらく常任委員会の形式で続けられていく方向

効果

議会を知っていただくよい機会となっている。

関係団体集うから得られる情報は大きいと考えるが、市民と議会の集いなので、全市民を対象とする集いの開催もよいのではないかと、(個人的には) 考えている。

《感想》

常任委員会ごとの開催については、興味がわきました。

どこの議会も、参加者が少ないこと、女性や若者も参加できる議会報告会など、共通の課題があると感じました。

4、議会施設について

平成 20 年 6 月に新庁舎建設基本構想の中で、市民に開かれた議会施設として、議会フロアを提起。

議会等の在り方

(1) 議会機能が十分発揮できる諸室、設備の確保

市民サービス棟のどの階に議会棟を配置するのか、面積はどの程度確保できるのか。

(2) バリアフリーを含むユニバーサルデザインの導入

障がい者等への対応をどこまで行うのか。

(3) セキュリティの確保

出入口を含めセキュリティを確保するため、市民（傍聴者等）の議会棟内の導線や各室の配置をどのように考えるか。

平成 22 年 12 月 22 日に、新議会棟に関する要望について 総務部長に提出している。

《感想》

議場見学では、傍聴席が非常に高い位置にあり、傍聴者からは議員が見えない難点がありました。そのため、傍聴席にモニターが設置されていました。

親子が傍聴できる部屋の設置があり、独立した部屋となっている点はよいと思いました。

下関議会でも、実際にできてからわかったとし、市民からも苦情が来ているとのことでした。

絨毯は、藍色とブルーの落ち着いた雰囲気のもので、下関の海をイメージしているとのことでした。

呉市

1、 議会報告会について

開かれた議会の実現を目指して、議員が地域の皆さんに直接議会の活動などについて報告するもの。

・概要

平成 30 年度は、7 月豪雨雑賀により未実施。

市内 18 地区において開催。

高等学校 6 校において開催

そのほか 10 団体で開催

平成 26 年実績 573 人

平成 27 年 369 人

平成 28 年 534 人

平成 29 年 2,220 人

アンケート調査を実施し、議会報告会の検証としている

《感想》

呉市ではかなり積極的に議会報告会を実施している感を受けました。

・常任委員会所管事務調査（テーマ）の報告と報告結果の活用について

所管事務調査・・・委員会主導で調査を行う

進め方は松本市議会とほぼ同様。

委員会ごとに担当部署に提言→いくつか実現の実績がある

課題

委員長のリーダーシップ

調査項目（テーマ）の設定

一方通行の委員間討議

今後の方向性

調査報告書の提出 ←検証作業

2、 市議会だよりについて

呉市議会だより「チーム議会」を発行している

平成 28 年まで発行していなかった

平成 29 年中核市移行に伴い、発行することになった

A4 サイズ 4 色カラー 約 12 ページ

費用：1 ページ 1,404 円 約 900 万円

《感想》

議会だよりの事務局の担当者が市広報の担当であったこともあり、斬新な表紙で、市民が読みたくなるようインパクトを与えている。

中身も読みやすいように工夫されている。ところ変わればで、面白い議会だよりである。

（私は個人的に今の松本市議会だよりを気に入っている）

今後の参考にしていきたいと思う。

3、 市議会の災害対応について

設置経緯

呉市では、過去に多くのし甲斐が発生しているが、これまで、災害発生時における議会・議員の対応が示されておらず、議員がそれぞれ独自の判断で行動・対応していましたが、新たな防災拠点となる市役所新庁舎の完成を契機に議会・議員の適切な対応を定めることとした。

- ・呉市災害対策本部が設置された場合、議長が必要に応じて設置。
- ・構成：議長、副議長、会派代表者 5 名、会派に属しない議員の代表者 1 名
- ・連絡会議の任務、議員の対応、議会事務局の対応、実施訓練等について説明を受けました。
- ・呉市では、他都市の事例から、最も問題となっているのが、議員個々が当局に問い合わせや要望を行うことであり、とくに災害初期においては当局が混乱を来している事例も見受けられることから、当局が災害対応に専念できるよう、議会側の窓口を一本化するため、災害初期においては当局ができる限り災害対応に専念できるよう当局への要望は、緊急の場合を除き連絡会議に提出することとしている。

《感想》

呉市BCPについて、議員の要望窓口を一本化している点は評価できる。参考にしていきたい。

新庁舎建設に伴う議会施設の整備について

議会棟見学

《感想》

建てられて間もない市庁舎。セキュリティでは、指紋認証が取り入れられていた。

図書館が市役所と一緒にあって、おかれている資料も充実している感を受けた。また、専任司書を置いている点は評価できる。

【視察を終えて】

下関市、呉市の視察を終え、議会ごとに特色ある取り組みが進められていた。

松本市にない取り組みもあり、とても参考になった。今後の議会活動に反映させていきたいと思えます。

令和元年11月3日

松本市議会議長 村上幸雄様

議会運営副委員長 上條美智子